



安全データシート

規定 (EC) 第1907/2006 (REACH)に準拠
GHS 改定 04 (2011):US, OSHA, GMA, ANSI
WHS オーストラリア 規定
JIS Z 7253 (2012):日本

Cube® ABS plastic / CubeX™ ABS plastic

改定日:2014.5.28

1.作成および会社／企業の特典

1.1 物質または作成物の特典: Cube® ABS plastic

1.2 作成物の使用: Cube® 3D Printerとの使用

1.3 会社/企業特典:

会社名 住所	3D システムズ・ジャパン株式会社 郵便番号 150-6027 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 エビスガーデンタワー27F
電話番号	03-5798-2500
化学物質緊急時	03-4520-9637 - Chemtrec

2.危険有害性の識別

2.1 分類

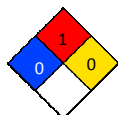
GHS、規定 (EC) 第 1272/2008、HazCom 2012 に従って分類されていません

2.2 標識要素

規定(EC) 第 1272/2008:

危険有害性の絵文字および注意書き: なし

危険有害性の説明: なし



NFPA 規定

0 = 最小

1 = 多少

2 = 中

3 = やや重

4 = 重大

危険有害物質識別システム (HMIS):

(危険有害度:0 = 低、4 = 極大):

健康 0

引火性 1

物理的危険有害性 0

3.構成物／成分に関する情報

3.1 作成物に関する情報

記述:ポリマー

3.2 危険成分:

化学名	CAS番号	EC番号	%	分類	
				規定 (EC) 1272/2008	規定 67/548/EEC, 1999/45/EC
ABS (アクリロニトリルブタジエンスチレン共重合樹脂)	9003-56-9	ポリマー	95~100%	-	-



安全データシート

規定 (EC) 第1907/2006 (REACH)に準拠
GHS 改定 04 (2011):US, OSHA, GMA, ANSI
WHS オーストラリア 規定
JIS Z 7253 (2012):日本

Cube® ABS plastic / CubeX™ ABS plastic

改定日:2014.5.28

4.緊急処置対処

4.1 一般情報: 高温および熱分解のための曝露の急性効果熱分解時に、一酸化炭素、二酸化炭素、シアン化水素、スチレン、エチルベンゼン、アクリルニトリルを含む微量（許容可能な曝露限界以内）な熱分解生成物が発生しますが、これらのみには限定されません。高濃度のこれらの蒸気や煙霧に曝露すると、めまいや眠気、頭痛が起こることがあります。

4.2 吸込んだ場合: 加熱された物質から放出される煙霧は呼吸器官に炎症を起こすことがあります。濃い煙を吸い込んだ場合は、被害者を新鮮な空気のある場所に搬送します。呼吸器官を刺激する場合、呼吸困難になった場合は、医師による治療を受けます。

4.3 皮膚に接触した場合: 溶融物質が皮膚に付着した場合は、冷水で急いで冷やします。皮膚から付着物を剥がさないでください。ミネラルオイルを使用して付着物を緩めます。火傷した場合は手当てを受けます。

4.4 眼に入った場合: 水を十分使い、すぐに眼を少なくとも15分間洗浄します。症状が継続する場合は医師による治療を受けます。

4.5 摂取した場合: 摂取の可能性は少ないです。誤飲した場合は、水を十分飲み、医師による治療を受けます。無理に吐かせないようにします。

5.消防士の対処

5.1 適切な消火剤: 散水、粉末消火剤、二酸化炭素、あるいは適切な発泡消火剤。

5.2 安全理由のために使用してはならない消火剤:-

5.3 物質あるいはその生成過程、燃焼生成物、発生気体による、特別な曝露危険有害性: 火災時には、一酸化炭素、二酸化炭素、シアン化水素、スチレン、エチルベンゼン、アクリルニトリルを含む燃焼生成物が発生しますが、これらのみには限定されません。

5.4 消防士用の特殊保護装置: 自給式呼吸器を使用します。散水して火にさらされた容器を冷却します。火災の場合はほこりが発生することが予想されます。

6.不慮の放出への対処

6.1 個人予防: 適切な保護装置と衣服を着用します。

6.2 環境予防: 灌漑用水路や上下水道から遠ざけます。

6.3 クリーンアップ方法: 掃い拾い適切に処分します。

7.取扱および保管

7.1 取扱: 皮膚や眼との接触を避けます。下水や水路に入れないようにします。

7.2 保管: 室温で元の容器に入れて貯蔵します。

8.曝露抑制 / 個人保護

この製品に使用されている添加物は曝露ガイドラインがあることがあり得ますが、これらの添加物は封入されており、通常の取り扱い条件では露出することは予想されません。

8.1 曝露限界値:

本製品に対しては職業性曝露限界値 (PEL/TWA) は確立されていません。



安全データシート

規定 (EC) 第1907/2006 (REACH)に準拠
GHS 改定 04 (2011):US, OSHA, GMA, ANSI
WHS オーストラリア 規定
JIS Z 7253 (2012):日本

Cube® ABS plastic / CubeX™ ABS plastic

改定日:2014.5.28

8.2 曝露抑制

曝露防止のための技術的対処: 通常稼動時には良好な一般的換気で十分です。

個人保護装置: この製品を本来意図する通りに使用する場合は、個人保護装置は不要です。

呼吸保護: 該当なし

眼の保護: 該当なし

身体の保護: 該当なし

9.物理学的および化学的特性

9.1 外観:

物理的状态: 固体フィラメント

色彩: 黒、青、茶、夜光青、夜光緑、緑、赤紫、ネオングリーン、ネオンオレンジ、紫、赤、銀、褐色、青緑、白、黄

臭気: 無臭

9.2 重要な、健康、安全、そして環境に関する情報

安全に関する基本的データ

pH (20 °C):	データなし
ビカー軟化点 (°C):	105
沸点/範囲 (°C):	データなし
引火点 (°C):	> 207 °C
発火温度 (°C):	データなし
気化温度 (°C):	データなし
密度 (g/cm3):	1.05
体積密度 (kg/m3):	データなし
水溶性 (20°Cにてg/L):	不溶性
分配係数:	データなし
n-オクタノール/水 (log Po/w):	データなし
動的粘度 (mPas):	データなし
粉体爆発危険有害性:	データなし
爆発限界:	データなし

10.安定性および反応性

10.1 回避すべき条件: 分解温度 250°Cを超える温度。通常の稼動ではこの温度領域には到達しません。

10.2 危険有害性分解生成物: 高温または燃焼時には、一酸化炭素および二酸化炭素を含む熱生成物が発生しますが、これらのみに限定されません。

11.毒性情報

11.1 トキシコキネティクス、代謝および分布: 該当なし

11.2 急性効果 (毒性試験)

急性毒性: 該当なし

経口LD50: 該当なし

刺激および腐食の効果: 該当なし

呼吸気道への刺激性: 該当なし

感受性: 該当なし



安全データシート

規定 (EC) 第1907/2006 (REACH)に準拠
GHS 改定 04 (2011):US, OSHA, GMA, ANSI
WHS オーストラリア 規定
JIS Z 7253 (2012):日本

Cube® ABS plastic / CubeX™ ABS plastic

改定日:2014.5.28

11.3 実際経験:

分類に関連する観察事項:-

その他の観察事項:-

11.4 一般的注記:

発がん性:本製品の構成物は、ACGIH、IARC、OSHA、NIOSH あるいはNTPのどれにも列挙されていません。

12.生態学的情報

12.1 生態毒性: 急性毒性は予想されませんが、摂取すれば、水鳥や水性生物に機械的な副作用を起こす可能性があります。

12.2 移動性: 大分子量 (MW>1000) のため、生物濃縮は予想されません。陸上環境では、物質が土壌内に残ることが予想されます。水環境では、物質が底泥内に残ることが予想されます。

12.3 持続性および劣化性: この水不溶性ポリマー固体は環境内では不活性であると考えられます。日光にさらされると表面劣化が予想されます。認識可能な程度の生物分解は予想されません。

12.4 PBT査定の結果: 本製品に関する情報はありません。

12.5 その他の逆効果: 本製品に関する情報はありません。

13.廃棄処分に対する考慮

13.1 適切な廃棄 / 製品: 下水や地面、どのような水中にも投棄しないでください。

すべての廃棄方法は、すべての連邦政府、州/地方、そして地域法律と規定に従わなければなりません。規定は地域によって異なることがあります。廃棄物選別および家電リサイクル法への順守は廃棄物を発生させる者に責務があります。

未使用および非汚染製品に対する好ましい選択肢としては、ライセンス許可を受けているリサイクル業者、回収、焼却炉または他の熱破壊装置に送ることです。

13.2 EWC/AVVに従う廃棄コード/廃棄指定:

14.輸送情報

14.1 陸路輸送 (ADR/RID/GGVSE): 規制なし

14.2 海路輸送 (IMDG-Code/GGVSee): 規制なし

14.3 空路輸送 (ICAO-IATA/DGR): 規制なし

15.規定情報

15.1 EU 規定

EINEC/ELINCS/NLP:すべての物質がリストされています

REACH アネックス XVII:リストされたものではありません

15.2 米国連邦

TSCA:すべての物質は TSCA 目録にリストされている、または TSCA 要件には従いません:

カリフォルニア州 プロポジション 65:カリフォルニア州の基準では、本製品は発がん、先天性またはその他の生殖欠損を起こす化学物質を含みません。



安全データシート

規定 (EC) 第1907/2006 (REACH)に準拠
GHS 改定 04 (2011):US, OSHA, GMA, ANSI
WHS オーストラリア 規定
JIS Z 7253 (2012):日本

Cube® ABS plastic / CubeX™ ABS plastic

改定日:2014.5.28

15.3 オーストラリア 規定

SUSDP、産業化学物質法令 1989:

化学物質のオーストラリア目録、AICS:リストされています

15.4 日本規定

化学リスク情報プラットフォーム (CHIRP):

リストされています

労働安全衛生法

危険有害物質

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

指定化学物質による

危険有害性防止規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

中毒性および毒性物質管理法

非該当

PRTR および化学促進

管理法 (PRTR 法)

リストされている成分はありません

消防法

非該当

火薬類取締法

非該当

高圧ガス安全法

非該当

輸出貿易管理令

非該当

廃棄物処理法

非該当

16.その他の情報

SDS 作成日:.....2012 年 5 月 13 日

SDS 改定番号:.....03-B

SDS 改定日:.....2014.5.28

改定理由:.....正しいセクション 15 日本語訳。

www.3dsystems.com

+1 800.793.3669 (米国内、GMT-07:00; 北米 月～金曜日、6:00 a.m. ～ 6 p.m.にてフリーダイヤル)

+1 803.326.3900 (米国外、GMT-07:00; 北米 月～金曜日、6:00 a.m. ～ 6 p.m.)

+44 144-2282600 (ヨーロッパ GMT+01:00; 月～金曜日、08:00 a.m. ～ 17:00 p.m. MEZ)

免責事項:3D システムズコーポレーションからの書式、同社による書簡、貴社との合意の改定については以下の事項が優先されます。3D システムズは、本製品の市場適合性あるいは特定目的に対する適合性は、明示暗示を問わず一切保証親いたしかねます。製品文献に含まれる記述あるいは推奨事項は、現在あるいは今後存在し得る関連特許の抵触を誘引する可能性があるとお考えください。いかなる場合においても、3D システムズコーポレーションは、本製品に対する偶然あるいは過失による損傷、保証違反、厳格責任などの見解、あるいは使用や取り扱いの結果生じた損傷には責任を負いかねます。3D システムズコーポレーションは、本製品の製造上の欠陥、使用あるいは販売に関する苦情に対しては、購入者の購入価格に相当する物造責任のみを負うものとします。

この安全データシートの内容は通告なしに変更されることがあります。3D システムズは、以下のホームページを定期的に関連し、使用する安全データシートが最新版であることを確認することを推奨します。 www.3dsystems.com

© Copyright 2012-2014 by 3D Systems, Inc. All rights reserved.3Dのロゴ、Cubeは、3D システムズの登録商標です。CubeXは3Dシステムの商標です。